



2025 年 11 月 14 日

各 位

会社名 豊 和 工 業 株 式 会 社
代表者 代表取締役社長 塚本 高広
(コード番号 6203 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 常務取締役総務部門長 北村 誠
(TEL 052-408-1001)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向や中国における工作機械関連事業の構造改革を踏まえ、2025 年 5 月 15 日に公表いたしました 2026 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおりに修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中国における工作機械関連事業の構造改革について

当社は、2011 年に工作機械ラインメーカーとして長年培ってきたエンジニアリング力を活かし、中国での自動車及び自動車部品関連のお客様向けにライン構築ができる仕組みづくりを目的に、中国天津市に現地法人として豊和（天津）机床有限公司を設立し、中国における生産性と信頼性の高いライン構築需要に応えてきました。

しかしながら、現在の中国における自動車及び自動車部品関連市場においては、大手 EV メーカーにて増産が見込まれるものの、厳しいコスト競争により、設備メーカーは苦戦を強いられております。更に、ローカルメーカーの台頭も日本の工作機械メーカーにとっては、逆風になっております。

このような状況を踏まえ、2025 年 5 月に公表しました中期経営計画で掲げた「工作機械関連事業の収益構造改革」の一環として、工作機械関連事業において、中国からの撤退を視野に含めた抜本的な構造改革を実施することといたしました。中国における工作機械関連事業の構造改革では、販売戦略の見直しや現地法人の縮小、撤退などを当初計画より前倒しして実施します。

また、中国だけでなく、工作機械関連事業全体においても人員の再配置や採算性を重視した販売戦略及び生産体制の見直しなどを積極的に推進し、当社グループの業績改善、キャッシュ流出の抑制及び経営資源の最適配分を早期に実現するための施策を実施してまいります。

このような改革を進めるにあたり今後も追加コストが発生する可能性もございますが、防衛関連事業が堅調に推移するなど当社にとって追い風となる事業環境が存在するなかで事業ポートフォリオの見直しを積極的に進めることで、2028 年 3 月期の中期経営計画の目標値達成及び企業価値向上に取り組んでまいります。

2. 業績予想の修正について

① 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	24,900	1,310	1,420	930	77.13
今回修正予想（B）	23,200	670	800	240	19.89
増減額（B-A）	△1,700	△640	△620	△690	
増減率	△6.8	△48.9	△43.7	△74.2	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	24,827	1,253	1,413	749	62.18

② 業績予想修正の理由

火器事業においては、防衛装備品の売上増加や防衛生産基盤強化法に基づく特定取組契約を売上計上したことにより前回予想より増収増益を見込みます。

一方、工作機械関連事業においては、工作機械や空油圧機器の売上減少及び採算性の悪い状況が継続するなど、今後も不安定な状況が続く見通しであります。このような状況により、「1. 中国における工作機械関連事業の構造改革について」として記載した構造改革を当初計画より前倒しして実施し、課題解決に取り組むことにより、収益力を高め、安定的な収益基盤を強固なものにしてまいります。そのため、当中間連結会計期間において、中国向け在庫の棚卸資産評価損などの費用を計上しました。これらにより、通期の利益は前回予想より大幅に下回る見込みであります。

この結果、売上高は、6.8%減の23,200百万円、営業利益は48.9%減の670百万円、経常利益は43.7%減の800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は74.2%減の240百万円に修正いたしました。

なお、配当につきましては、継続的・安定的な配当とする基本方針のもと、従来の配当予想を維持致します。

※本資料は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上